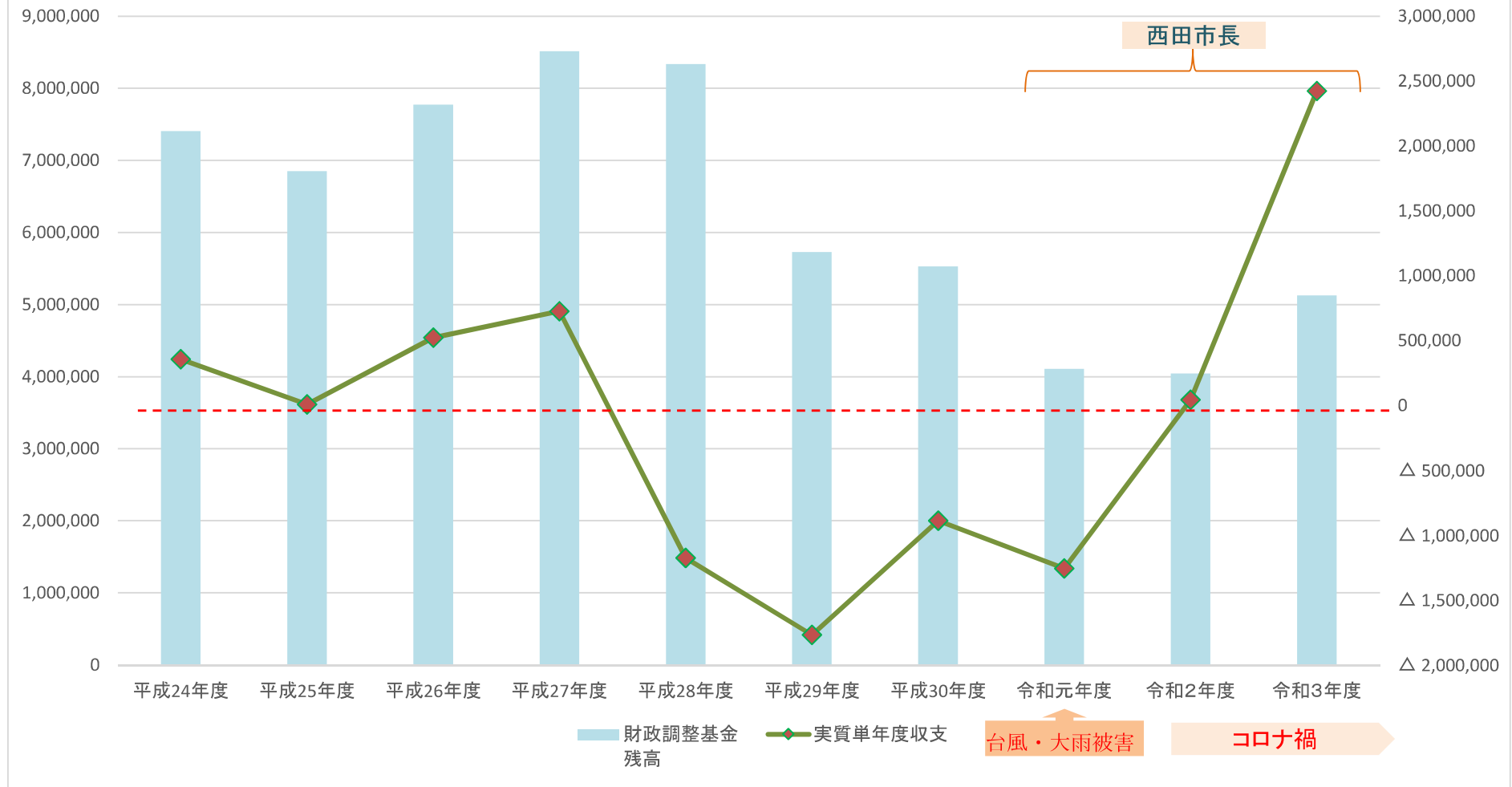
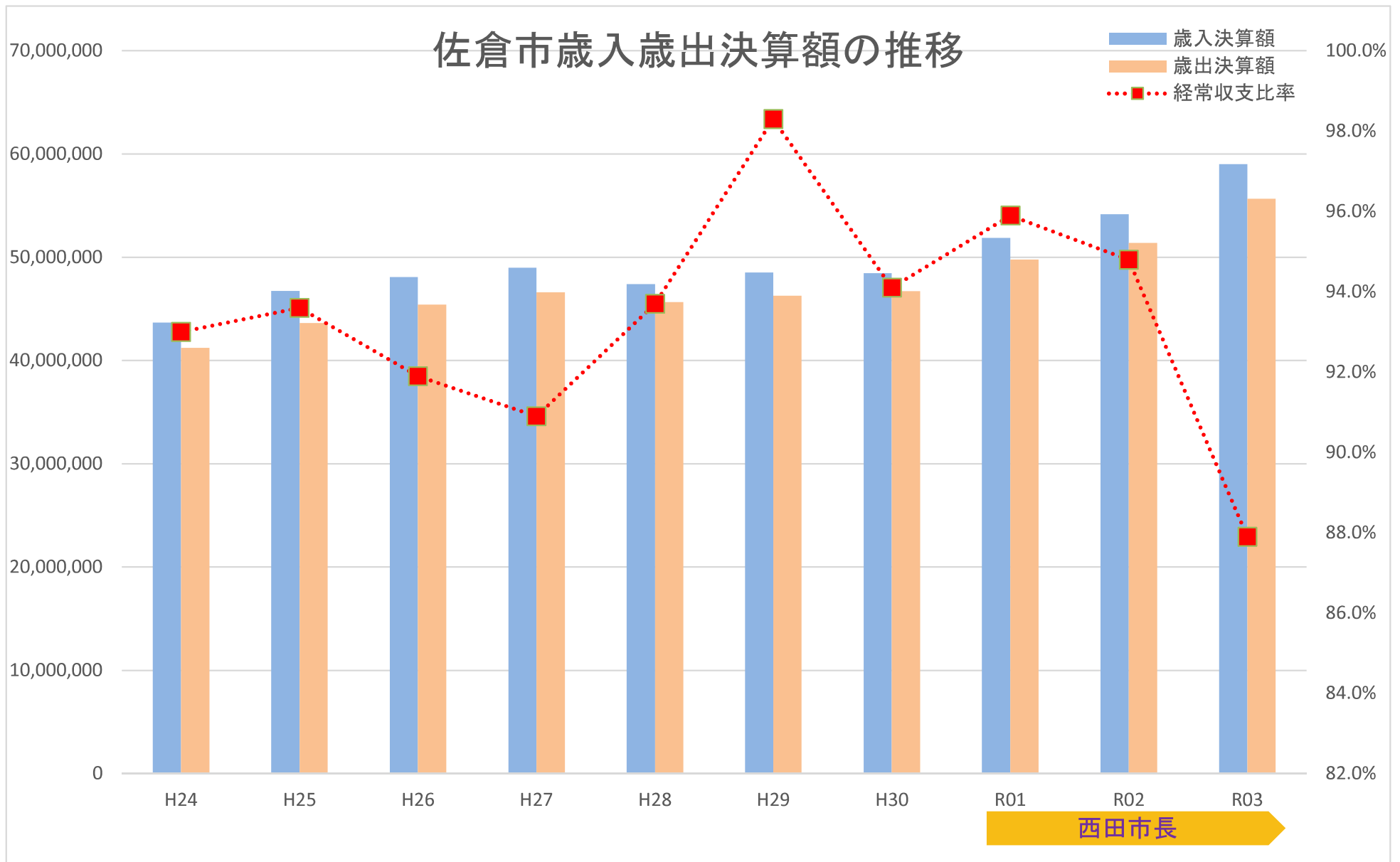


佐倉市決算(実質単年度収支と財政調整基金残高の推移)



※財政調整基金とは…地方公共団体が年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金。財源に余裕がある年度に積み立てておき、災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用するもの。

※実質単年度収支…各年度の歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた形式収支から翌年度に繰り越すべき財源(通次繰越額)を控除したものを実質収支といいます。通常、赤字・黒字は実質収支で判断し、決算書にもこの数値が記載されます。しかし、実質収支は、前年度以前からの収支の累積であるので、その影響を加味しない単年度の収支として、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額を単年度収支といいます。さらに、ここから実質的な黒字要素(財政調整基金への積立金や地方債の繰上償還額)を加え、赤字要素(財政調整基金の取り崩し額)を差し引いた額を実質単年度収支といいます。これは、決算の実質的な赤字・黒字を判断する指標となります。



※経常収支比率とは…地方税、地方交付税、譲与税・交付金などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数で、財政構造の硬直度を表すものとされています。低い数値ほど政策的に使える財源が多くなる、財政の弾力性があるということになります。

【注…令和2年度決算額から国の予算で実施した特別定額給付金関連の歳入・歳出約175億円を減算しています。】